

	<h1>れんごう下越</h1>	<p>第 125 号 2016.8.20 発行人 福井 正史 1部5円 購読料は会費に 含 En la union Esta la fuerza 団結こそ力</p>
<p>日本労働組合総連合会新潟県連合会・下越地域協議会 957-0054 新発田市本町 1-1-6 総合生協会館内 TEL0254-26-3705 FAX0254-26-0556</p>		

2016 しばた平和のつどい

～戦争のない核兵器のない平和な世界の実現をめざして～



感想・意見交換

連合は平和運動として、核兵器廃絶による世界の恒久平和の実現と、被爆者支援の強化をはじめ、在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本の見直しに向けた運動、北方領土の早期返還と日ロ平和条約の締結をめざす運動などに取り組んでいます。そのため、連合は6月～9月を平和行動月間として、[1]6月沖縄 [2]8月広島・長崎 [3]9月根室での平和行動を基本に、中央・地方の取り組みを進めています。

連合下越地協では、毎年、新発田市で開催される「しばた平和のつどい」に共催して10年が経過しています。新発田市は世界のすべての国が核兵器を速やかに廃絶し、平和な国際社会を築くことを強く求めて、平成9年に「核兵器廃絶平和都市」を宣言し、平和運動の周知、推進を進めています。今年は、8月11日(木)海の日で開催されました。



西澤 慶子教諭

第1部は、「広島平和記念式典参加者による感想報告・意見交換」と題して、今年広島記念式典に参加した中学生から感想として平和式典で感じたことを素朴に発表しました。

第2部は、「両親の被爆体験と2世としての生き方」西澤慶子さんが講演いたしました。西澤さんは、敬和学園高校の英語教諭で両親が広島市内で被爆し。広島で教諭をしていたが結婚を機に新潟県に移住しました。被爆2世を理由に差別、偏見が多くありことの現実を目の当たりにした。毎年、敬和学園高校の生徒を引率し、現地の被爆者の話を聞き、礼拝や平和記念式典などで祈りを捧げています。この活動を26年間つづけており、高校生の原爆の関心は徐々に高まっていると感じます。今年は5月にオバマ米国大統領の広島訪問があり、新たな気持で広島を訪問しました。

9.25(日) セッション一覧

会場：敬和学園大学

2016 にいがたワーク&ライフフォーラム in 新発田

参加無料

9月24日(土)、25日(日)の各プログラムに託児所を用意しています。

9:00 **基調講演**



演題 「賀川豊彦～労福協運動」
早稲田大学教授
篠田 徹氏

早稲田大学第一文学部中国文学科卒業。早稲田大学政治学研究所博士課程、北九州大学法学部専任講師を経て、97年から現職。専門は比較労働政治。主要著書に「世紀末の労働運動」岩波書店、「2025年 日本の構想(共著) 岩波書店、「ポスト福祉国家とソーシャル・ガバナンス」(共著) ミネルヴァ書房などがある。

10:10 **1 DJミノルクリスの生講演**
～新発田の皆さん、愛してます!～
FM新潟で活躍中のDJミノルクリス氏。彼が数々の成功と挫折から培った「伝えること・伝える方の大切さ」についてお話をいただきます。渡米・起業等紆余曲折を経たエピソードはもちろん、放送では聴けないような話も聴けるかも!?『人生をより豊かに生きる為のコミュニケーション』について共に学びましょう!
主催：2016 新発田新世代リーダーズサミット実行委員会

10:25 **5 食の映画祭&食品廃棄ロス削減シンポジウム**
敬和学園大学の教授と学生が参加した手作りのシンポジウム・映画祭を行う予定。「もったいない」から「ありがとう」を基本理念に「食の命」の大切さを訴えてゆきます。生活困窮者への支援はもちろん、食品の廃棄ロス削減に対する取り組みが必要です。生活困窮者への支援は、食品の廃棄ロス削減に対する取り組みが必要であり、関連映画とシンポジウムで理解を深め、この問題を解決する糸口にしていきます。
主催：フードバンクにいがた

10:25 **2 考えてみよう SNS やスマホとの付き合い方**
くろうきん>が独自作成し新潟県下の全中学校へ無償で配布した「中学生の安心・安全な生活をサポートすべく、SNSやスマホの活用における啓発DVD」を視聴いただくとともに、有識者によるパネルディスカッションを併用して参加者とともに現状把握と問題意識の共有をはかる。
主催：新潟県労働金庫・総合生協

10:25 **6 ひとひと 女と男 もっと自分らしく生きるために**
～それぞれの働き方、生き方を考えよう～
いろいろな職業や、年代の方から、働くなかで感じていること、感じてきたことを話していただき、会場の反応も取り入れながら、トークセッションを行います。男女の性別による固定的な役割分担意識の解消、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)等の推進を図るため、今の自分を見つめ直していきましょう。
主催：新発田市(男女共同参画推進団体懇談会)

10:25 **3 イマドキの生きづらさを考える**
～「ふくし」と「くらし」と「しごと」～
労働環境や家族構造の変化などによって、日常生活や友達とのコミュニケーションに困っている若者、社会参加する機会や環境が整っていない若者など、将来に希望を見出せない状況があります。若者たちが抱える生きづらさをひもとき、「ふくし」「くらし」「しごと」等の視点で、若者が孤立しない地域づくりを目指します。
主催：新発田市社会福祉協議会

10:25 **7 若者を応援する地域のつながり**
～おせっかいサポーター養成講座～
様々な困難や不安から働くことに一歩踏み出せない消極的な若者たちが全国に56万人ほどいるとの調査があります。こうした若者たちが一歩踏み出すために出来ることを考える市民講座を開催します。「自信を失いかけている若者」をおせっかいの力で励まし勇気づける取り組みを学びます。若者の支援に興味・関心のある方をお待ちしております。
主催：下越地域若者サポートステーション

10:25 **4 働く者の労働衛生**
～生活習慣病予防とお口の健康～
歯科医師会と連携!「全身の健康」を保つためには「歯の健康」を保ち、いつまでも自分の歯でよく噛みよく味わうことが大切。バランス良い食事をしっかりと噛んで食べることは「肥満の予防」「メタボリックシンドロームの予防」につながる。「歯周病」と「全身の病気」は深い関係がある。歯の健康に興味のある方必見!
主催：連合新潟

10:25 **8 障がいのある人も生き生きと働ける職場づくり**
～精神障がい者と共に働くということ～
障がい者雇用促進法改正に伴い、平成30年4月から、精神疾患を抱えた方の雇用促進も図られることとなります。実際に一緒に働く人たちが障がいを抱えた人たちとの間で、たとえばハラスメント等のトラブルを引き起こすことのないよう、一緒に気持ちよく働ける職場作りを提案します。
主催：弁護士法人新潟第一法律事務所

昼食

12:35 **9 まちあるき A 新発田城じっくり見学コース**
城下町・新発田を象徴する新発田城は県内で唯一、江戸時代の城郭が現存するお城です。美しい石垣や平成16年に復元された三階櫓や辰巳櫓など、観光ガイドさんとともに見学します。
主催：NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター & NPO法人まちづくり学校

12:35 **12 上映会「風の波紋」と小林監督によるトーク**
新潟県の長野県境に近い豪雪地帯。十日町、松之山、津南、上越、長野県栄村などが映画の舞台です。手間を惜まず丹念に育てられた米や野菜が、私たちの日々の暮らしを彩るように、心を込めて作られた一本の映画が、人生の大切な糧となることがあります。この映画は、『阿賀に生きる』『阿賀の記憶』のスタッフが、5年の歳月をかけてじっくりと作り上げた映画です。上映終了後、小林監督によるトークもぜひお聴きください。

主催：下越地区労福協

12:35 **10 まちあるき B 寺町清水谷エリアを歩き、歴史を感じるコース**
城下町・新発田には江戸時代・幕末の雰囲気は今に残っています。大きな寺が軒を連ねる寺町や美しい庭園・清水園を歩き、歴史を感じます。
主催：NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター & NPO法人まちづくり学校

14:05 **11 城下町新発田の和菓子作り体験**
歴代藩主が茶道に力を入れた新発田藩では、和菓子にも力を入れ、京都方面から新しい技術を取り入れながら、質の良い物が作られるようになったといわれています。「寿堂」の店主から、新発田の和菓子の歴史のお話を聞き、実際に2種類の和菓子作りを体験します。
※出来るだけ、エプロンや手拭タオルを持参ください。 主催：下越地区労福協

14:35 **セッション第2グループ**